



学校だより 10月号

石川小学校スローガン

「みどり・ふれあい・すこやか 笑顔いっぱい 石川の子」

令和元年9月30日

横浜市立石川小学校

校長

寺園 淳

主体性を育てるために

校長 寺園 淳

9月9日、台風15号の通過に伴い、石川小学校は休校となりました。この台風により自然園や敷地内の木々が三十数本折れる被害がありました。報道でも伝えられているとおり、千葉県では被害が大きく広がっています。また、本校の近隣の方でも被災された方がいらっしゃいます。心よりお見舞いを申し上げます。このような被害が発生すると地域の皆様のつながり、絆が心の支えとなることが実感されます。石川の子どもたちも将来、この町を支える一員として日頃からつながりを意識して生活してほしいと願っています。

6年生が9月1日より3日まで日光体験学習に行ってきました。この小学校生活最後の体験学習は、これまで学んだ力を生かし、自ら考え行動することが望まれます。つまり主体的に取り組むことが学習の価値を高めることにつながります。その一つの具体的な姿が戦場ヶ原ハイキングにありました。ハイキングに行く前日、日光自然博物館の学芸員の方から戦場ヶ原の自然について様々な視点からレクチャーを受けました。どの子ども動物や植物等のスライドを一生懸命に見ながらハイキングに備えていました。ハイキング当日、戦場ヶ原の木道を歩きながら動物の糞を発見すると、早速得た知識を使い、この糞をした生き物を推測していました。その時の子どもたちの顔はとても生き生きしていました。

7月の学校だよりで児童支援専任が紹介しました南区横浜子ども会議に、6年生と5年生が石川小学校を代表して出席しました。今回は南区全ての小中学校の代表が一堂に会し、テーマに沿った話し合いを進めました。また、今年度の新しい試みとして、今年話し合ったことを来年度に繋げようと5年生がオブザーバーとして参加しました。岸田さんは前回のグループ協議を元に、自分の考えたことを全体に伝えることができ、とても満足している様子が見られました。

子どもたちは学んだことを自分の生活に生かそうとします。だからこそ私たち教職員は、子どもに様々な学習や経験を重ねさせ、それを価値付け、身に付けた学びを発揮する場を意図的に準備しなければならないと考えます。子どもがさらに主体的に学べるように、保護者の皆様、地域の皆様のお力添えをよろしくお願いいたします。

